

稜線

発行
長野南高等学校同窓会
印刷
樹サヲト

長野南高等学校同窓会ホームページ
<http://w2.avis.ne.jp/~nanryou/>
E-mail: nanryou@mx2.avis.ne.jp

存在感、価値観を 自信を持って語れる同窓生に



日頃より母校
長野南高校同窓
会活動にご理解
とご協力賜り心

同窓会会長 鈴木 洋一 (3期生)

より感謝申し上げます。平成26年度同窓会総会にて同窓会長を仰せつかりました3期生の鈴木洋一です。

我が母校も平成24年に開校30周年を迎え、既に新設校という枠を越え、いよいよ地域の、そして長野市の中でも確固たる存在感を示さなければいけません。そんな時期を迎えていると思いません。

振り返ってみれば、平成17年に県教委より突如発表された統廃合から今日まで私も、同窓会役員として学校と手を携えながら母校発展のために微力ながら活動させて頂きました。ここ数年参加させて頂いていただいている入学式、卒業式では在校生の姿に年々誇りに思う

と共に長野南高校の存在意義を感じているところでもあります。

そんな中ではありますが、まだまだ発展途上の、いわゆる「のびしろ」のある生徒たちが多く集まる学校であり、そんな生徒を教職員の皆様、保護者の皆様、地域の皆様、そして9千余名の同窓生等が見守っている学校です。

とにかく自分に自信をつける高校生生活となるよう同窓会としても生徒を励まし、時には厳しく接し、希望の持てる道に導けるような役割を果たさなければと感じているところでもあります。

長野県の方言で「ずく」という言葉があります。以前、本校在校生の女生徒に「ずく」って知っているよね、と尋ねてみると、聞いたことはあるけど意味がよくわからない、と言われてしまいました。時代なのかもしれませ

ん。私は、同窓生もそして生徒もこの

「ずく」がこうした時代だからこそ必要だと思えます。効率重視や目先の利益にばかり気を取られ、買っただけでしる、といわれた苦労や努力するという姿勢がやや軽視されているような気がします。つまり、「ずく」を出して取り組むこと、それが、もしかしたら無駄なことかもしれないけれど、それでもやってみよう、という気概を持つ力が必要で、そうした環境が大事ではないかと思えます。高校生だから夢見れること、将来に向けて語れるロマン、前を向いて歩き続ける力をつける、そんな高校生活を応援していける長野南の最大の応援団として同窓会も「ずく」を出してPTAの皆様、そして学校、地域の方々とこれからも取り組んでいかなければならないと思えます。

この同窓会報「稜線」も数年振りの発行となり、同窓生各位には大変ご無沙汰しておりますことをお詫びするとともに、改めて母校に少し思いを寄せただけであれば幸いです。

ここ数年では我が母校も特に前期選抜においては数ある公立高校の中でも多くの中学生からの志願をいただいているようです。南稜キャンパスの主人公である在校生の頑張りがより良い長野南高校の教育環境の向上に大きく貢

献しているのだと思います。

そんな中にあっても、長野南高校の存在感、価値観を更に高めていくことが必要です。真価が問われるのはまだまだこれからであると考えます。社会の中で同窓生各々が中心的な役割を担うようになり、同時に重責を担う年代となつていのではないのでしょうか。長野南卒業生として、如何にその社会の期待に応えられているのか、社会に貢献できているのか、同窓生一人ひとりの頑張りが母校発展に大きな貢献となるのでは、と考えます。

開校初期に卒業された先輩、同期、後輩などもご子息、ご令嬢が我が母校に入学してくる、そんな時期となつてきております。そんな時期だからこそ、自分たちの母校に誇りとまではい cannot なくとも、後世代に長野南高校の存在感、価値観を自信を持って語れる同窓生となりたいたいものです。

今回の同窓会報発行にあたり、2名の同窓生から寄稿していただきました。お二方とも芸術の分野でご活躍であり、その奮闘ぶりに私自身大きな勇気や元気をいただいております。既に9千余名の同窓生がそれぞれのフィールドで活躍しております。各々の生き方そのものをフルに生かしながら母校発展に大いに貢献していきましょ



母校から

長野南高等学校校長 荒木 博明

長野南高校同窓生の皆様には、益々ご健勝にてご活躍のことと拝察いたします。日頃より本校の教育活動に深いご理解とご支援ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

犀南地区の皆様を中心とし、この地に公立高校をという願いが実り昭和58年開校の長野南高校は33年の月日を重ねました。これまでの長野南高校の歩みを顧みますと決して順風満帆の時ばかりではありませんでした。特に平成17年に県教育委員会より突如発表された「松代高校との統合」問題であります。この事案に対しても当時の西澤同窓会長さんを中心とした地域一丸となつての存続活動の願いが実り、統合案は撤回となりました。その活動の基本理念にあつたのが、「この地には高校が必要なんだ」という長野南高校創立当時の純粋な願いでありました。だからこそ、我々教職員は生徒たちと共に地域に愛される高校を目指し、地域に貢献できる高校でなくてはならないと肝に銘じながら教育活動に取り組んでおります。

本校の創設当時は県下最大の学年10学級規模でスタートしましたが、世の中の少子化の流れは止めることはできず、現在では5学級規模の学校となつております。私も教職員は、生徒に精いっぱい愛情を注ぎ、創立以来の校是である「意欲・創造・誠実」に満ちた生徒の育成に邁進していく所存でありますので、同窓生の皆様におかれましては、今後とも未永く本校にご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ここで、紙面をお借りして先日同窓生の方にお世話になったお話を紹介させていただきます。

本年度入学の生徒の中で、夏休みに膝を手術した生徒がおりますが、術後の回復が芳しくなく、学校での生活には当面車いすが必要となりました。ご存知のように、まだまだ学校現場はバリアフリーにはなつておらず、車いす使用者にとっては段差だらけの不都合の多い所です。

そこで、北校舎・南校舎・音楽室への入り口の段差(数段の階段)にスロープを付けることとし、同窓会副会長の小山田雄治(株)小山田組社長)さんに相談させていただいたところ、「よし分かった、任せろ」の二つ返事で材料費のみで即日に取り付けを完了していただきました。このように、損得勘定なしで母校へ支援を注いでいただく姿には本当に頭が下がる思いでした。

また、本校陸上部OGでやり投げ種目でインターハイ出場、インカレ優勝、日本陸上選手権3回優勝、第15回アジア陸上選手権大会の日本代表選手でありました山本晴美さんに陸上部の外部指導者としての協力を依頼しましたところ、快いお返事をいただき12月よりご指導いただいているところでもあります。

今後とも我々教職員一同は長野南高校発展のため精一杯努力させていただきますので、同窓生の皆様には今までも増して、物心両面からのご支援をいただきますようお願い申し上げます。





PTA会長 ぐあいさつ

PTA会長 北澤 英則

今、日本の教育が大きく変わろうとしている。具体的には、学力の三要素について知識・技能の十分な習得、習得した知識・技能を活用して答えのない問題に自ら答えを出していくこうとする思考力・判断力・表現力、これらの元となる主体性を持って多様な人々と協議して学ぶ意欲・態度をしっかりと身に付ける、今の高校での問題が山積みです。

また、公職選挙法の改正により選挙権年齢が十八歳に引き下げられ、主権者教育、シチズンシップ教育が高校教育の新たな課題として浮かび上がってきました。

この二つとも学校教育だけではなく、家庭教育の関わりや地域・社会をフィールドとした学習が重要だが、協議の過程や答申の文書の中に「学校」「家庭」「地域」を結ぶ中心にあるPTAは、子供たち一人ひとりの幸福の実現を目指して保護者と教職員が手を携え、どのような社会が望ましい社会であり、その社会を作り発展させるのはどのような考え方や能力を備えた人であるべきかをP保護者がしっかりと認識して、T教職員の皆様の理解と共感を得て、互いにかっちりタッグを組んでいく組織であります。未来をつくる生徒を育てる舞台である学校を我々PTAと同窓会がしっかりとサポートして、上手く機能できればよいのかと思います。

今の南校生に考えていって欲しいこととし

て、「成長社会」と「成熟社会」が存在していることを理解しなければいけません。

戦後の焼け野原から、日本の経済は右肩上がり成長してきました。一九五〇年代半ばから始まった高度経済成長期を経て、一九八〇年代後半から起こるバブル景気でピークを迎えました。それまではジグザグしながらも株価が上がりが、地価が上がりが、住宅価格は上がりましたが、このような二十世紀型の成長社会は一九九七年を境に終焉を迎えました。この年に何が起きたのかというと、山一証券と三洋証券が破たんしました。それだけではありません。不動産業界などに融資をしていた銀行は多額の不良債権を抱えて、次々に破たんしました。ここで二十世紀型の成長社会は終わって、次にそれまでとは全く違う成熟社会に移行しました。

成長社会は「みんな一緒」、成熟社会は「それぞれ一人一人」という時代が変わりました。電話は一家に一台だったのに、一人に一台という時代に。結婚式の引き出物もみんな同じモノだったのに、カタログの中から自分が欲しいモノを選べるようになりました。

成長社会では、学校の先生や親の言うとおりに、『いい子』にして『よい大学』に入學して『よい会社』に就職することができた。でも、成熟社会に入って、少しづつ変わってきました。一人一人が自分自身の幸福を持た

なければいけない時代になってきたのではないのか。

成長社会では「情報処理能力」が求められましたが、成熟社会になると「情報編集能力」が求められるようになりました。

情報処理能力とは、いち早く正解を導き出すこと。例えばジグソーパズルのピースには必ず「正解」がある。正解の場所をいかに早く見つけるかという、頭の回転の良さが求められていました。

一方の情報編集能力には、どのようなチカラが求められるのか。身に付けた知識や技術をさまざまに組み合わせ、みんなが納得できる解：いわゆる「納得解」を導き出さなければいけません。情報処理能力が求められていた時代はジグソーパズル型思考だと言いましたが、情報編集能力が求められる今の時代はレゴ型思考が必要なのです。ジグソーパズルのように正解は一つでなく、組み合わせは無数にある。頭の回転の速さでなく、頭の柔軟性が重要になってきました。イマジネーションの勝負となって来ます。今、生徒諸君には後者のような情報編集能力を養ってほしいものです。

「自分には情報処理能力があるんだ、その得意分野でやっていくんだ」と思っている人は、今後厳しくなっていくでしょう。繰り返しになりますが、これからの時代は違う。多くの人が納得できる解をどれだけ生み出すことができるか。正解を当てるのではなく、創造性が必要になってくるのでしょうか。

最後に、この同窓会報「稜線」の発行を機に母校である南校や同窓生の情報源として続いて行くことをお祈りいたします。

『同窓生の集い』を開催



平成25年より同窓会主催による『同窓生の集い』を開催しております。市外、県外在住の同窓生も多くいらっしゃることから夏のお盆に同窓会総会終了後に行っております。1回目は1期生中心、2回目は1期生から4期生、そして平成27年は5期生の皆様にご案内させていただきました。同級会の代わりに、また、クラブ活動OB会として、更に、学年やクラスを越えた同窓生交流の機会として活用していただければ幸いです。引き続き毎年開催を予定しておりますので

一人でも多くの同窓生のご参加をお待ちしております。

また、同窓会として母校発展のために出来る限りの協力をしていきたいと思っております。同窓会の年間行事の一つとして同窓生から在校生に向けての講演など、長野南で学び、その後、今日にいたるまでの経験などを後輩たちに伝え、少しでもお役に立てるような活動もしていきたいと考えております。一人でも多くの同窓生の更なるご協力を心よりお願い申し上げます。

同窓会役員名簿

役職名	氏名	期・組	備考	役職名	氏名	期・組	備考
特別顧問	荒木博明	—	学校長	理事	三森和子	2-4	事務局次長兼務
相談役	西澤直樹	1-7		理事	戸澤光昭	3-4	
相談役	西澤章	1-8		理事	徳武浩文	3-9	
顧問	栗田裕善	4-9		理事	西山雅子	3-5	
会長	鈴木洋一	3-3		理事	宮尾剛教	3-5	
副会長	関野童也	1-4		理事	堀内剛	4-4	
副会長	小山田雄治	2-4		理事	岡田啓嗣	5-8	
副会長	伊藤哲也	4-5	事務局長兼務	理事	荒木眞一	5-5	
副会長	角田康博	7-2		理事	佐藤公治	5-9	
監事	町田智	1-7		理事	関智文	8-2	
監事	柳澤宏明	1-4		理事	滝澤由江	10-1	
理事	高野憲一	1-4		理事	鈴木剛	12-5	
理事	馬場俊樹	1-5		理事	大橋純子	12-3	
理事	宮入利夫	1-5		理事	北原和人	12-8	
理事	宮坂志保	1-8		会計	西澤卓玄	15-8	

インターハイ 出場

8月1日～大阪府堺市



男子ハンドボール↑



県大会結果報告

- *女子ハンドボール部 優勝 (北信越出場)
- *男子ハンドボール部 2位 (北信越出場)
- *女子バスケットボール
陸上部 (砲丸投げ)
弓道部
囲碁・将棋部 大会出場

各種大会報告

☆長野県高校新人体育大会(県大会)

- ◇男子ハンドボール *優勝 全国選抜大会県予選出場
- ◇女子ハンドボール *優勝 全国選抜大会県予選出場
- ◇弓道 女子団体 *第5位
- ◇陸上競技 砲丸投 米倉 *第8位 入賞
他、県大会に出場を果たしたのは、弓道(男子個人)、
陸上(砲丸投げ、円盤投げ)、女子ソフトテニス(ペア
2組)、男子テニス(団体)、男子空手(個人形、個人組
手)、女子バスケットボールです。
- ◇吹奏楽部
第55回長野県吹奏楽コンクール高等学校部門
*銀賞受賞
- ◇合唱部
NHK学校音楽コンクール長野県大会
*銀賞受賞
- ◇書道部
第68回長野県書道展覧会 松林*金賞受賞
坂田*銅賞受賞
- ◇演劇部
第42回北信地区高等学校演劇合同発表会
*銀賞受賞

私たち女子ハンドボール部は、3年ぶり3回目のインターハイ出場を決めることができました。私たちは、県新人戦で優勝し、そこから常に追われる立場として日々の練習に励んできました。

しかし、練習では自分たちの思うようなプレーができず焦りを感じる時もありました。それでも暗くなってしまいがちな練習を、明るく元気にやっつけようとして、上手いかなかったプレーについて話をし、少しずつ改善していきました。

そして、県大会が始まり、初戦から気を抜かず自分たちらしいプレーができ、そのまま順調に決勝まで進みました。決勝では、今まで練習してきたことができ、良い雰囲気の中試合ができました。その結果、インターハイ出場を決めることができました。インターハイでは、格上のチームばかりだと思いますが、少しでも全国に通用するプレーができるように、残された時間を大切に頑張っていきたいと思っています。

女子ハンドボール部部长

「今と高校時代、30年後のこだわり」

宮尾佳和 (3期生)

長野南高校3期生の宮尾佳和です。今は東京でアニメーションを監督やデザインをしたりと、やや変わった仕事に従事しています。

そもそも、なにゆえこのような方面に来る事になったのか。これが理由かなと思うのは、一般の人よりも細かい事が好きで、なにかつこだわりが強かったように思えます。デザインやファッションなど目につく物に対して「面白いかつまらないか」「人を楽しませているかそうでないか」中学時代まで単に絵を描くのが好きで済んでいた程度の事が、高校時代からは「もっと面白く」「人の心に届く」というこだわりが変わって行ったように思います。

当時の南高は私が入学した時点でようやく3学年が揃い、学校としての体裁がなんとかできた、というタイミングでした。最近知り合った元1期生で運動部の活動をしていた先輩にその事を聞いた所「歴史のない新設校である事を他校になめられたくない」という意識が強かったと伺いましたが、なるほど当時南高を覆っていた「緊張感」はそう言う事だったのかと納得しました。また「まっさらな新設校に入ってやろう」という学生たちですから「なんかやってやろう」とか「自分たちがスタートを切るんだ」という野心家が多いのは間違いない訳で「いろんな事件に事欠かなかった」のも腑に落ちるわけです。

自分が所属していた美術部や漫画研究同好会はまさにそんな先輩の巣窟で、そんな存在感のアリアリな先輩たちに何とか答えなければ、というプレッシャーのような物はかなり感じました。そして文化部特有、というか自分だけ

かも知れませんが「スポーツ部にだって負けたくない」という意識。今は分りませんが当時の南高の野球サッカー剣道はとて強かった。そんな訳で「文化部だつてちゃんと活動してるんだ！」という反発心もあってシャカリキになって絵や漫画を書いた訳です。

3年生の夏、最後のクラスマッチで3年間で1回も優勝のないうちのチームはバレーボールで決勝まで勝ち上がります。その時の、1回戦で自分は大風邪をひきフラフラ。控えの選手も居ないので優勝の瞬間までコートに立ち続けません。そして見事うれしい優勝！その時の写真を見ると一人だけ顔が青いのはそのせいです。みごと翌日ぶつ倒れ過労で発疹ができて1ヶ月の入院生活。そんな病院の中でせつせと文化祭用の漫画原稿を描いていたのは今でも良い思い出です。まさに『漫画バカ』です。でもそんな「バカ」が他にも沢山いたから先輩方や後輩たちがいろいろんな方面で活躍しているのでしょう。

最近、ACパルセイロさんのマスコットキャラクターを手がけさせて頂いた縁で、いろいろな事が分りました。パルセイロさんの前身の「長野エルザ」は南高サッカー部の2期生の先輩と当時スポーツ部顧問の丸山先生が深く関わって設立、運営(監督)されていたという事実。キャラクターを手がけるキッカケは故郷篠ノ井にチームのホームグラウンドが新設された事と自分がサッカーアニメの監督を手がけた事の2つの縁な訳ですが、実は南高の関係者であるという3つ目の縁があったわけですね。前節のパルセイロさんの最終戦を南長野で観戦しました。その時偶然、近くの席にいた丸山先生に再会しました。当時、漫画研究同好会の会長だった自

同窓会報に寄せて

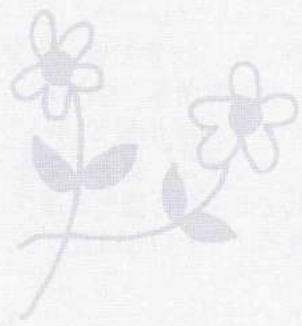
鶴田智也 (1期生)

平成8年に南高を卒業した鶴田智也と申します。TOMOYARTSという名前で画家をしております。現在は長野市上千歳でオープンアトリエ「風の公園」を運営し、そこで絵画作品制作や、子供たちを中心としたお絵描き会など開催しております。

てから欠かさずスケッチブックに絵を描いていたのは、画家で将来食べていきたいというより、描くのが楽しくて続けていたのが今の職業に繋がっています。

画家を志すため東京の学校に進学する前は、南高でボクシング部に所属しており、プロのリングに憧れを抱いておりました。そして、このボクシング部の存在こそ、南高を選んだ1番の理由でした。長野県はボクシング部がとて少なく練習試合も、丸子実業高校と対戦がメインで指導者もまた少ないため、松本の「春日ボクシングジム」へ週1で通い、習ったことを仲間や先輩に伝えるというスタイルで練習していましたが、高校時代はひたすら部活が中心で、あまり遊んだ記憶がないのですが、今でも練習でフラフラになりながら自転車帰宅していた思い出はとてキラキラしています。帰っ

長野で絵を仕事にしている人はその当ても現在も少なく、やり方が確立しているわけではないので、日々、技術や表現力を磨いていかないと沈んでしまいうるようになる厳しい世界です。しかし、苦しみながらも自分にはかない世界がキャンパスに現れた瞬間は、電気が体を走るような最高の瞬間です。これからの社会、仕事にはもちろん協調性も必要ですが、仕事に自分にしか出せないオリジナリティが問われてくる気がしています。経験、体験の引き出しを沢山つくり、人と出逢う。在校生のみなさんには、友達以外の様々な社会と触れ合う機会を自分から掴んでもらいたいと思います。是非、みなさんとアトリエや個展などでお会い出来れば幸いです。



分が全ての部の顧問だったマルさんに「もっと会費をあげてほしい！」と直談判した事が今でも思い起こされます。(怖かった)最終戦はマスコット「ライオ」のお披露目の日でもありました。ピッチで「ライオ」を見た丸山さんから「とても良いデザインだね!」と言葉をかけてもらいました。10年も100年も残るデザインになるようこだわって作った甲斐がありました。そして嬉しかったです。



宮尾佳和 プロフィール

(アニメーション監督・プランナー・デザイナー・BARN STORM DESIGN LABO代表)

長野南高校3期生(漫画研究同好会)
武蔵野美術大学(視覚伝達デザイン科)卒業後、NHKアートデザイン部入社。グラフィックデザイナーをへてアニメスタジオに入社1年半後フリーに。現在はアニメーション監督の他に、企画の立案、デザインの提案、専門学校講師等。2015年より藤ノ井の街作り団体に協力。

主な監督作品

- TV・ゲームイナズマイレブン(2期 2009)
- 劇場版イナズマイレブン 最強チームオーガニック(2010)
- 劇場版イナズマイレブンGO 究極の絆 グリフォン(2011)
- 劇場版イナズマイレブンGO vs ダンボール戦機W(2012)
- TV・OVAマギ・シンドバッドの冒険(2015)
- AC長野パルセイロマスコットキャラクター「ライオ」デザイン
公式ホームページ <http://barnstorm-design-labo.com/>

この寄稿文を書きながら思うのは入学から30年、当時もらった目に見えない刺激はあの3年が単なる通過点ではない、大切な3年間だったのだという事でしょうか。あの人々、南稜魂の宿るあの場所、あの時代、それぞれにマジで感謝をしたいと思えます。



「雫の恵み」サイズ: A4



「見守る樹」サイズ: 20号変型

TOMOYAARTS (鶴田智也)

「優しさ、心地よさ、温かさ」がテーマ。絵の中に子供の頃過ごした長野県の風景を元に、そこへ空想を重ね合わせ、ファンタジーの世界を創り出す。またTOMOYAARTSオリジナルのライブペイント「キャンパスアニメーション」は一枚のキャンパスで絵を変化させていく。その様は動く紙芝居。イベント、百貨店などでパフォーマンスを披露。2012年1月より、長野県長野市にアトリエ『風の公園』をオープン。

【展示販売会&ショップイベント】

- ・伊勢丹(新宿・立川・府中・静岡・新潟・京都・小倉)
- ・ロフト(渋谷・梅田・吉祥寺・大宮・千葉・札幌・福井)
- ・福家(広島)
- ・星ヶ丘テラス(名古屋)
- ・わざたタウン(大分)

【テレビ】

- ・テレビ朝日『STREET FIGHTERS』
- ・FUJI ROCKにてライブペイント
- ・音楽イベント『@横浜』IN横浜赤レンガ倉庫ロゴ、ライブペイント担当
- ・BSJapan『ハッピーデザイン』
- ・テレビ信州『ミラクル開拓団』
- ・テレビ信州『ゆうがたGET』
- ・NHK『ひるとく』出演
- ・『ワンダフル信州人』

【雑誌/書籍】

- ・『DODA(デュータ)』(インテリジェンス株式会社) イラスト掲載
- ・『KDDI冊子』(KDDI株式会社) イラスト掲載
- ・『SWITCH』(株式会社スイッチ・パブリッシング) イラスト掲載
- ・『広告』(株式会社博報堂) イラスト掲載
- ・『さよなら、またね』(PHP研究所)

【アパレル】

- ・ジャーナルスタンダード イラストTシャツ販売
- ・サーフブランド『ブルーアートドライブ』イラストTシャツ、ペイントデニム、ペイントスニーカー販売
- ・白浜ガールズクラブ オフィシャルTシャツイラスト提供
- ・BEAMS-T イラスト提供
- ・アパレル・インテリアブランド『CN』雑貨テキスタイル イラスト提供
- ・marble SUD

【壁画】

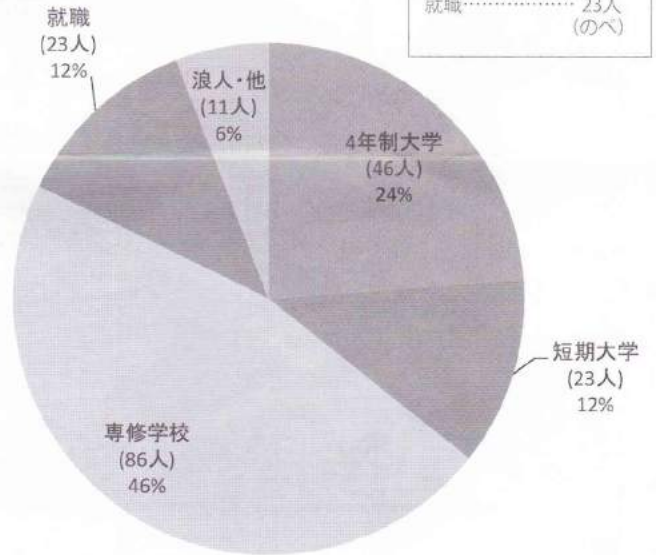
- ・自由が丘子供服『PLUCKY』
- ・筑子ファミリア保育園
- ・いきいき家族おふせえがお

進路

未来へ向けて 高くはばたいて

◆進路状況(平成26年度卒業生)

国公立大学……	5人
私立大学……	41人
短期大学 公立…	3人
私立…	20人
専門学校 公立…	3人
私立…	83人
就職……	23人 (のべ)



◆過去5年間の進路実績

《国公立大学・大学校》

信州大学 長野県看護大学 高崎経済大学 都留文科大学 山梨県立大学 新潟県立看護大学 長岡造形大学 福井県立大学 前橋工科大学 関東職業能力開発大学校 職業能力開発総合大学校

《私立大学》

東洋大学 亜細亜大学 神奈川大学 関東学院大学 国際医療福祉大学 城西大学 城西国際大学 駿河台大学 大東文化大学 拓殖大学 津田塾大学 帝京大学 東海大学 東京国際大学 日本大学 立正大学 山梨学院大学 金沢工業大学 工学院大学 中部大学 名古屋商科大学 日本福祉大学 佐久大学 諏訪東京理科大学 清泉女学院大学 長野大学 松本大学 長野保健医療大学

《国公立短期大学・短期大学校》

長野県短大 大月市立大月短期大学 長野県工科短大

《私立短期大学》

大妻女子短大 実践女子短大 創価女子短大 帝京短大 清泉女学院短大 長野女子短大 松本大学松商短大 松本短大 他

《その他の学校》

長野県長野技術専門校 長野県松本技術専門校 他

《私立専門学校》

上田情報ビジネス 大原学園 長野カレッジオブキャリア 長野青学学園 OKA学園 長野理容美容専門 長野調理製菓専門 長野医療衛生専門 小諸看護専門 佐久総合病院看護専門 長野看護専門 長野赤十字看護専門 北里保健衛生専門 日本工学院 群馬自動車大学校 他

《公務員》

長野県警察 自衛隊

《就職》

中部電力 新光電機 長電バス 柄木田製粉 キャロット DTPスクール コヤマ マツヤ 隆盛コーポレーション 他

編集後記

最後まで同窓会報をお読み頂き、ありがとうございます。

今回の会報は鈴木同窓会長就任後初の発行となりましたが、ご多忙の中原稿を寄稿して下さいました鶴田智也さん、宮尾佳和さん、本当にありがとうございます。お二人もそうですが、長野南高校の同窓生が各分野で活躍している報告を聞くだけで、誇らしげな気分になるのは私だけでしょうか。今後も同窓会組織や、この同窓会報が皆さんの橋渡し的存在になれば幸いです。早いもので今年一期生は四十代最後の年となります。社会的に益々責任ある立場となっていく中、鈴木会長を中心に同窓会役員一同頑張つて参りますので、母校発展の為に皆様の更なるご協力をお願いいたします。

関野